

## Player's Message

### 国体に挑んだ選手たち 【フェンシング編】

5位決定戦、追い込まれてから逆転勝利した  
**千葉朱夏選手** 少年女子・一関一高3年

小4から始めたフェンシング。集中力とメンタル面が強くなりました。最後の試合は0-3に追い込まれてから逆転。自信につながりました。優勝を逃したのは悔しいけれど、勝って終われたのは良かったです。



地元での勝利を誓って試合に臨んだ  
**佐々木月選手** 少年女子・一関学院3年



地元での国体。絶対勝つ、という気持ちで臨みました。皆さんの応援はうれしかったです。千葉選手、小川選手とは小さい頃から一緒に練習してきたので、これが最後の試合だと思うと寂しいです。

最後の試合で右足を負傷しながらも健闘した  
**小川千尋選手** 少年女子・一関学院3年

最後の試合で右足を負傷。懸命に戦いましたが一歩及びませんでした。チームの2人が頑張ってくれました。目標の優勝には届かず、悔いが残りました。この悔しさを今後に生かしたいと思います。



## Voice

素晴らしい結果を残してくれた岩手の剣士たち



市フェンシング協会会長  
**秋保茂樹さん**

選手が頑張ってくれた素晴らしい結果を残してくれました。競技最終日には、感動で胸がいっぱいに。盛り上げてくれた観客や関係者の皆さんに感謝しています。



1\_ 成年男子フルーレで優勝を決め、感極まり涙を流す佐々木慶将選手(右)と笑顔の藤野大樹選手(左) / 2\_「絆」の文字が刺しゅうされたリストバンドを身につけて記念撮影に応じる成年女子選手 / 3\_ 剣に貼られた数々の大会ステッカーは歴戦の証し / 4\_ 鋭い踏み込みで相手に迫る佐々木功喜選手(少年男子) / 5\_ 雄叫びを上げ勝利を喜ぶ工藤伸也選手(成年男子) / 6\_ 佐々木選手の会心のガッツポーズ / 7\_ 少年女子5位決定戦。右足を痛めた小川千尋選手と、心配そうに見守る佐々木満監督 / 8\_ 岩手の快進撃に会場が揺れる

## フェンシング競技の主な結果 (10月2日~5日)

種目など	岩手の成績	優勝した都道府県
成年男子フルーレ	優勝	岩手
成年女子フルーレ	6位入賞	熊本
成年男子サーブル	2回戦敗退	東京
成年女子エペ	1回戦敗退	宮城
少年男子フルーレ	2回戦敗退	岐阜
少年女子フルーレ	5位入賞	和歌山
男子総合成績	6位	岐阜
女子総合成績	8位	和歌山

# 1. 悲願達成、あふれる涙

フェンシング成年男子フルーレで、花泉町出身の佐々木慶将選手兼監督率いる岩手が悲願の頂点に立った。同競技の優勝は、全種別種目を通じて県史上初。地元出身選手が達成した快挙に、会場の興奮は最高潮に達した。

フェンシング競技は10月2日から5日までの4日間、市総合体育館で行われ、全国の剣豪約300人がハイレベルな攻防を繰り広げた。成年男子フルーレは、岩手が決勝で宮城を2対1で撃破。県勢初優勝を飾った。ロンドン五輪の銀メダリストを破って勝利を決めたのは、花泉町出身の佐々木慶将選手兼監督。悲願の達成に、涙を流しながら喜びをかみしめた。

少年女子フルーレは地元出身の高校生3人組が意地を見せた。順位戦で群馬に2対1で逆転勝利。5位入賞を果たした。成年女子フルーレは順位戦で宮城に1対2で惜敗し、6位入賞。また、少年男子フルーレは2回戦で岐阜、和歌山に破れ敗退。成年男子サーブルは2回戦、成年女子エペは1回戦で敗退した。

会場には、学校観戦で連日多くの児童生徒が詰め掛け、岩手の剣士たちに熱い声援を送った。

成年男子フルーレ、国体初制覇